

令和6年12月における市内小・中学校の事故等の報告について

○ 定例教育委員会で報告する基準

次の事故・事件等について発生した場合は、教育委員会に報告する。

- ① 事故では、特に首から上の怪我、骨折や縫合のあった怪我等、医療機関において処置された案件
- ② 事件・問題行動では、指導室として特に今後の動向が危惧される案件

<小学校> 事故等3件

発生日	発生場所	管理	学年	事故等の概要
① 12/4 (水)	校庭	内	6	【左足首骨折】 ・当該児童は、体育の授業中、高跳びの練習を行っていた。 ・高跳びの試技の際に、着地に失敗し左足首を捻った。 ・病院で受診し、左足首骨折の診断を受けた。
② 12/5 (木)	横断歩道	内	3	【上下唇擦り傷及び両膝擦り傷】 ・当該児童は、登校中、関係児童2人と横断歩道を渡ろうとした際に、左側から進行してきた自転車と接触した。 ・病院で受診し、上下唇擦り傷及び両膝擦り傷の診断を受けた。
③ 12/10 (火)	校庭	内	2	【前額打撲】 ・当該児童は、休み時間に鬼ごっこをしていた際に、飼育小屋の裏から飛び出したところ、出会い頭に関係児童とぶつかった。 ・病院で受診し、前額打撲の診断を受けた。

<中学校> 事故等1件

発生日	発生場所	管理	学年	事故等の概要
① 12/10 (火)	体育館	内	1	【左薬指骨折】 ・当該生徒は、保健体育の授業中、跳び箱の練習をしていた。 ・跳び箱を跳ぼうとして着手した際に、左薬指を痛めた。 ・病院で受診し、左薬指骨折の診断を受けた。